

平成二十八年十月吉日

家庭に関する学科等卒業者の進学機会の拡大等についての要望書

全国高等学校長協会家庭部会
理事長 橘川 睦子
同 進路調査研究委員会
委員長 安西 啓雄

家庭に関する学科等においては、将来の生活産業を担うスペシャリストの育成を目指し、知識・技術の習得はもとより、学習の定着をより確実にするため、公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会主催、文部科学省後援による家庭科技術検定(被服製作技術検定、食物調理技術検定、保育技術検定)などにも取り組んでおります。そのような中、家庭に関する学科で身につけた知識・技術をさらに高めるため、また、より高度な資格を取得するため、大学・短大への進学を希望する生徒が少なくありません。

しかしながら、現行の各大学等の入学者選抜においては、家庭に関する学科等に学んだ生徒の取り組みなどの成果に対する評価が十分ではなく、その改善を強く要望しているところがあります。また、経済的な理由で、進学を断念したり、入学後の学業に専念できない生徒も少なからずおり、その環境改善を切に願うものであります。

つきましては、進学機会の拡大に向け、入学者選抜の改善や環境整備など、左記の事項について特段のご高配を賜りますよう、全国高等学校長協会家庭部会の総意によってお願い申し上げます。

記

一 家庭に関する学科等の卒業者を対象とした推薦入学枠の設置、特別選抜の導入など、多様な入学者選抜についての一層の拡充。

二 入学者選抜において、課題研究や家庭科技術検定、学校家庭クラブ活動などの成果を尊重・重視した評価の導入並びに推進。

三 家庭に関する学科等で学んだ学習成果に応じて、入学金・授業料等の減免や奨学金の制度の充実等、経済的優遇措置の一層の拡充。

以上の三項目につきまして重点事項として要望いたします。